



2023年4月8日（土）

2023-24のための地区研修・協議会

SAA・クラブ奉仕・クラブ研修リーダー部門



2023-24のための地区研修・協議会
部門別協議会：SAA・クラブ奉仕・クラブ研修リーダー

開 会



2023-24のための地区研修・協議会

部門別協議会：SAA・クラブ奉仕・クラブ研修リーダー

出席者紹介・配布資料確認

クラブ奉仕・拡大増強委員会

副委員長 浜田 晋



2023-24のための地区研修・協議会
部門別協議会：SAA・クラブ奉仕・クラブ研修リーダー

リーダー挨拶

22-23 DG 宮里 唯子



2023-24のための地区研修・協議会
部門別協議会：SAA・クラブ奉仕・クラブ研修リーダー

クラブで行う研修の内容・方法

TOPICS

- クラブ研修リーダーの役割
- 研修方法
- ラーニングセンター
- クラブビジョン／行動計画
- 退会者アンケート
- 新会員オリエンテーション
- クラブ研修リーダーのリソース（資料）

クラブ研修リーダーの役割（章典 8.050.1.）

任命者	クラブ会長エレクト 修リーダーを1名	新入会員研修 フレッシュロータリアン研修 委員会別研修 リーダーシップ研修、ほか	ランを監督するクラブ研
任期	任期は1年で、連		
役割	① 全ての研修ニーズを網にされるようクラブ理事会および各種委員会と協力す ① 支援とア <u>地区ガバナー</u> と協力すべきである。	クラブレベルの研修に対するガバナーの責務（章典 19.010.3.): クラブが包括的な研修計画を備えていることを確認する。	

研修方法

- ◆ My Rotary のラーニングセンターを活用する
- ◆ クラブ内外の卓話者を招く（地区委員会）
- ◆ 地区行事に積極的に参加する（クラブ委員長会議、セミナーなど）
- ◆ 地域レベルの行事に積極的に参加する
（クラブ活性化セミナー、ロータリー研究会など）

ラーニングセンター

Rotary  | My Rotary

ホーム | アイデアを広げる | 行動する | **ラーニング & 参考資料** | 運営する | ロータリー財団 | ニュース&メディア | 会員コーナー

役割別 >

主題別 >

ロータリーについて >

方針と手続き >

ラーニングセンター

ウェビナー

①

②

ラーニングセンター

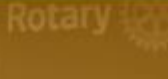
 Rotary

プラットフォームでコンテンツを検索する

🔍

ホームカテゴリー

コース (主題別)



ロータリーについて

見る



クラブのリーダーシップ

見る



地区のリーダーシップ

見る



一般

見る



会員増強

見る



専門能力開発

見る



公共イメージ

見る



奉仕活動

見る



ロータリー財団

見る



研修リーダー

ラーニングセンター コースカタログ

トピック	コース数
1. クラブリーダー ★	12
2. 地区リーダー	18
3. ファンドレージング	2
4. 一般 ★	11
5. 会員増強 ★	7
6. 専門能力開発 ★	17
7. 公共イメージ ★	4
8. 奉仕 ★	8
9. 研修	10

ラーニングセンター コースカタログ クラブリーダー

- ① クラブ管理運営委員会の基本
- ② クラブ会員増強委員長の基本
- ③ クラブ会長の基本&中級
- ④ クラブ公共イメージ委員会の基本
- ⑤ クラブロータリー財団委員会の基本
- ⑥ クラブ幹事の基本
- ⑦ クラブ奉仕委員会の基本
- ⑧ クラブ会計の基本
- ⑨ ロータリークラブ・セントラルのリソース
- ⑩ 委員会を効果的に導く
- ⑪ クラブの運営

ラーニングセンター コースカタログ 一般

(一部抜粋)

- ① ラーニングセンターを利用しよう
- ② ロータリー財団入門
- ③ ロータリーの基本知識
- ④ 個人データの保護
- ⑤ ハラスメントの防止と対処
- ⑥ 多様性・公平さ・インクルージョンへの取り組み
- ⑦ 制定案と決議案の選出方法
- ⑧ ロータリー行動計画の実行

ラーニングセンター コースカタログ 会員増強

(一部抜粋)

- ① 多様性のあるクラブを築く
- ② あなたのクラブは健康ですか？
- ③ 入会への魅力を高める
- ④ 新クラブをつくる
- ⑤ 新クラブを育成する

ラーニングセンター コースカタログ 専門能力開発

(一部抜粋)

- ① 無意識のバイアス
- ② ハイブリッド例会
- ③ 多様性・公平さ・インクルージョン（基本）
- ④ 多様性・公平さ・インクルージョン（中級）

ラーニングセンター コースカタログ 公共イメージ

- ① ロータリーブランド
- ② ロータリーの公共イメージを築く
- ③ ロータリーのロゴ
- ④ 「世界を変える行動人」の素材を用いたクラブの推進

ラーニングセンター コースカタログ 奉仕

(一部抜粋)

- ① ロータリーの重点分野
- ② 補助金管理セミナー
- ③ 奉仕学習（アドバイザー向け）
- ④ 青少年向け 奉仕学習ガイド

クラブビジョン

国際ロータリのビジョン



ロータリーの行動計画

より大きなインパクトをもたらす



参加者の基盤を広げる



参加者の積極的なかかわりを促す



適応力を高める



行動計画の立案プロセス

第1段階

- ・現状分析

第2段階

- ・ビジョンの作成

クラブの理想像、中長期的な目標

第3段階

- ・計画の作成

第4段階

- ・進捗の確認

現状分析：クラブの健康チェック



健康を維持し、病気を予防するには、定期的な健康診断が欠かせません。これと同じように、クラブを定期的に診断して問題点を見つけ、その対処法を探ることが大切です。この資料は、クラブリーダーがクラブの現状を把握し、会員と地域社会にとってクラブが価値ある存在であり続けるために何ができるかを考えることを目的としています。まずは過去12カ月間を振り返り、あなたのクラブに当てはまる項目に印をつけてクラブの健康度をチェックした上で、その結果をクラブ役員と話し合います。印がつかない項目が四つ以上あるセクションは、重点的に取り組む必要があるかもしれません。問題のある分野を見つけたら、「処方箋」に挙げられたアイデアを実行してみましょう。

1. クラブでの経験
2. 奉仕と親睦
3. 会員増強
4. 公共イメージ
5. 運営

診断→処方箋

現状分析：会員満足度アンケート

会員の満足度を 高める： 会員満足度アンケート



会員がクラブで得られる体験は、クラブに対する会員の気持ちに影響します。会員の声に常に耳を傾けて変化を取り入れ、全員の協力を得ながら理想のクラブづくりを目指すことが大事です。会員満足度調査は、会員がクラブでの活動に満足できるように、会員の意見を集めるためのツールです。

目的

次のような目的でこの評価を実施し、その結果に基づいて対応します。

- ・クラブについて会員が満足している点、不満に感じている点は何かを知る
- ・会員が満足している点をさらに強化し、不満な点を改善するための行動計画を立てる

準備

満足度アンケートの実施には、専任のグループが必要です。会員増強委員会、または有志の会員でもかまいません。例会中にアンケートを実施し、会員の満足度について話し合うこともできます。または、アンケート用紙を配布するかEメールで送信して各自に時間をかけて回答してもらうこともできます。満足度調査の実施のみを目的とした特別例会を開くのも一案です。その場合は、リラックスした雰囲気の中で率直な意見を集められるようにすることが重要です。

会員満足度アンケートの 質問のサンプル

クラブでの日ごろの経験に関する本アンケートへのご協力をお願いいたします。ご回答は、クラブをより良くするための参考とさせていただきます。正しい答え／間違った答えはありませんので、率直なご意見をお聞かせください。アンケート調査にご協力いただき誠にありがとうございます。

1. 本クラブの会員であることにどのくらい満足していますか。

- ☐ 満足している
- ☐ ある程度満足している
- ☐ どちらともいえない
- ☐ あまり満足していない
- ☐ 満足していない

2. 本クラブの雰囲気、会員、例会について、各項目につき該当するものに印を付けてください。

	そう思う	ある程度 そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう思わ ない
例会を楽しんで いる	☐	☐	☐	☐	☐
クラブは新会員 が打ち解けられ るよう配慮して いる	☐	☐	☐	☐	☐
会員は互いへの 思いやりをまっ	☐	☐	☐	☐	☐

ビジョンの作成

戦略計画 立案ガイド



戦略計画立案プロセスの概要

第1段階： 現状分析 クラブの現状は どうか？	第2段階： ビジョンの作成 どのようなクラブになり たいのか？	第3段階： 計画の作成 どのようにビジョンを 実現できるか？	第4段階： 進捗の確認 目標への進み具合は どうか？
• 取り組むべき戦略的課題を特定する • クラブの長所と短所を把握する • 会員の満足度とニーズを調べる • 地域社会にある機会と課題を特定する	• クラブが実現したい特徴を5～7つ挙げる • ビジョン声明をつくる	• 戦略的優先事項を定める • 年次目標を立てる • 活動項目、実施期日、必要なリソースを挙げる	• 年次目標に向けた進捗を確認する • 目標を達成できなかった場合、その理由を特定する • 行動計画を見直し、調整する

退会者アンケート

退会理由を理解する： 退会者アンケート



退会者アンケートは、会員が退会する理由を探ることで、今後の対策を立て、同じ理由による退会を防ぐことができます。クラブの事情に合わせて、会員増強委員会が実施するとよいでしょう。用紙でのアンケート、インターネットでのアンケート、個別面談での質問など、調査の形式も決めておきましょう。

目的

退会者アンケートの結果に基づいて、次のような対応ができます。

- ・ 会員がクラブを退会する理由を知る
- ・ アンケート結果からわかったクラブの課題に取り組む

準備

退会者から意見を得る最後の機会となるこのアンケート調査は、非常に大切なものです。アンケートをオンラインで実施する場合、または用紙を使用する場合は、退会者が出るたびに実施を担当する担当者を決めておきます。個人面談の形式を用いる場合は、コミュニケーションの上手な会員に担当してもらいましょう。アンケート終了後、担当者が会員増強委員会と理事会に結果を報告します。

はじめよう

ステップ1: 協力を依頼

退会する会員に、アンケート調査への協力をお願いします。このアンケートは、今後の退会を防ぐためにクラブの課題を明らかにし、多くの会員が満足できるクラブづくりを目指すためのものであることを説明します。

退会者アンケート 質問のサンプル

退会の理由やクラブの改善点について率直なご意見・ご感想をいただければ幸いです。ご回答はすべて極秘で扱われ、より良いクラブとなるための参考とさせていただきます。

1. 本クラブに入会した主な理由は何でしたか（該当するものすべてに印を付けてください）。

- ☐ 社会奉仕に関心があった
- ☐ 国際奉仕に関心があった
- ☐ 人間的成長のため
- ☐ リーダーシップ／専門職業人としての能力開発
- ☐ 家族代々がロータリアン
- ☐ 地位・名誉のため
- ☐ 社交・親睦に関心があった
- ☐ 人脈づくりに関心があった
- ☐ 国際交流に関心があった
- ☐ 青少年への指導・支援
- ☐ 学友としてロータリーに再び参加したかった
- ☐ その他：_____

新会員オリエンテーション



新会員 オリエンテーション

ロータリーでの第一歩を踏み出してもらうために



オリエンテーションの内容

新会員は、入会前にすでにロータリーについて多少の知識をもっています。オリエンテーションは、この知識を土台にロータリーへの理解をさらに深めてもらい、新会員が抱えている質問に答えることを目的とします。以下のアイデアを参考にして、オリエンテーションの内容を組み立てましょう。

ロータリーについて

- + 以下の点を説明しましょう：
 - ・クラブは、ロータリーの国際的ネットワーク（国際ロータリー）に加盟していること
 - ・ロータリーの使命と価値観
 - ・世界ポリオ撲滅活動におけるロータリーの貢献と活動成果
 - ・ロータリーの歴史
- + ロータリーウェブサイト「ロータリーについて」のページや、「ラーニングセンター」のコース（ロータリー戦略計画、重点分野、ロータリー財団の基本情報など）もご活用ください。

会員ができることについて

- + 以下の点を説明しましょう：
 - ・ロータリーのネットワークを通じて地元や世界に変化をもたらす力になる
 - ・異業種間の交流を通じて幅広い知識を身につけ、スキルを磨く
 - ・「人前で話す力」や、プロジェクト・行事の企画運営力を身につける
 - ・さまざまな職業の人たちとネットワークを広げる
 - ・生涯続く友情をはぐくむ
 - ・国際交流を楽しむ
- + 世界中でさまざまな割引サービスが利用でき、また、会員が自社の割引を提供できる会員特典プログラム、「ロータリー グローバル リワード」を紹介しましょう。
- + video.rotary.orgの動画やMy ROTARYの「会員コーナー」もご活用ください。

クラブについて

- + 会員に期待されていることを、明確に新会員に伝えましょう：
 - ・クラブの特徴と文化（例会出席と活動参加の方法など）
 - ・クラブの主なプロジェクトや活動
 - ・クラブの沿革
 - ・非公式の親睦行事やオフ会の予定
- + クラブのウェブサイト、ソーシャルメディアページ、会報などを紹介しましょう。

留意事項：会費の納入義務や出席に関する期待事項は、入会前に必ず伝えてください。

クラブ研修リーダーのリソース（資料）

- ラーニングセンター コース一覧
- クラブの健康チェック
- 戦略計画立案ガイド
- 会員の満足度を調べる
- 新会員オリエンテーション
- 退会者アンケート
- RID2660 『ロータリーの心と実践』



ご清聴、有難うございました。



2023-24年度にむけての
地区研修・協議会
SAA・クラブ奉仕
研修リーダー 部門

会員増強について

2023年4月8日

2023-24年度

RI第2660地区クラブ奉仕・拡大増強委員長(予定者)

樋口武英(大阪東RC)

はじめに

宮里ガバナーの話に何かひとつでも、ふたつでもよいからお土産を持って帰れるようにしてほしい。過去の話はよい。これからの話をしてほしいとのアドバイスをいただいたので、切り口を変えてお話をさせていただきます。

なんのための研修会か

1. 地区クラブ奉仕・拡大増強委員会の役割、クラブの増強委員会の役割とは。
2. 会員数が、100名以上、50名から100名、50名以下の3つのグループに分けて、それぞれの問題点を調査・分析を行い、活動成果を水平展開する。
3. My Rotary は素晴らしいロータリーのバイブルです。これの活用やこのバイブルを教材にしての定期的な勉強会の実施。

クラブビジョンが重要

なぜクラブビジョンが必要なのか

<会社の例>

発展している会社は事業部や部門ごとに中長期ビジョンを作っている。

理念だけではだめなのです。地域や歴史を理解して目標を決める必要があります。

楽しいロータリー活動

楽しいロータリー活動とは。ロータリーの基本理念をベースに**楽しいクラブライフ**をどう築くかです。

会員数が少ないクラブの活性化

延原次年度ガバナー方針のひとつに少人数クラブの**奉仕活動の協業**があります。当委員会も会員数が少ないクラブの増強や活性化に力をい入れたいと考えています。

今回はビジネスの世界を例に、クラブ増強のヒントになればと思いお話し致します。

会員数が少ないクラブの活性化

○少人数クラブで本年度会員増強に成功しているクラブ

		期首	23/2末
IM第1組	箕面RC	30	34
	大阪梅田RC	35	42
	大阪梅田東RC	28	32
	大阪大淀RC	39	42
IM第2組	千里RC	24	27
	高槻RC	42	47
	高槻東RC	33	37
	高槻西RC	16	20

会員数が少ないクラブの活性化

		期首	23/2末
IM第3組	寝屋川RC	35	38
IM第4組	東大阪みどりRC	17	19
	八尾南RC	21	24
IM第5組	大阪リバーサイドRC	31	33
	大阪堂島RC	39	44
IM第6組	大阪東南RC	30	32
	大阪天王寺RC	35	38

会員数が少ないクラブの活性化

○20人以下のクラブ

		23/2末
IM第1組	箕面千里中央RC	17
IM第2組	大阪東淀ちゃやまちRC	16
	大阪淀川RC	17
	高槻西RC	20
	千里メイプルRC	19
IM第3組	香里園RC	15
IM第4組	東大阪中央RC	18
	東大阪みどりRC	19
IM第6組	大阪イブニングRC	13
	大阪大手前RC	17
	大阪咲洲RC	20

『群れの経営』と

『バーチャルカンパニー構想』

『群れの経営』と『バーチャルカンパニー構想』

わたしどものような小規模な企業は常に高齢者問題、事業継続問題、社員が入ってこない等の諸問題に直面しています。

中小企業が生き延びていくにはどうすればよいかを考え続けた結果、わたしが着目したのは魚や虫や鳥たちの習性でした。

『群れの経営』と『バーチャルカンパニー構想』

わたしはその働きをビジネスモデルに練り上げました。それを

『群れの経営』と『バーチャルカンパニー構想』と呼んでいます。

このビジネスモデルはロータリークラブのなかで小規模なクラブが抱えている問題にもあてはめることができそうです。

バーチャルカンパニー構想とは

これは経営基盤がぜい弱な中小企業がさまざまな事業リスクを避け、事業の発展と経営体質の強化をはかるための考え方です。それぞれの自主独立経営を基本としつつ、群れることによって単独では実現困難な経営インフラを整備し、自社の弱みを補完し、強味を共有することで、お互いの経営体質の強化を図ります。

群れの経営



海の何千匹もの魚の群れは、まるで一匹の大きな魚のように、一瞬にして方向を転換することができます。

群れの経営



蟻のコロニーは地上の環境変化に対応しながら、日々さまざまな仕事をこなすために、最適な役割分担を作り出しています。

群れの経営

自然界の鳥や魚や虫たちは、個ではなしえない機能を集団で生み出す賢い群れのルールがあります。

そこには一見複雑なシステムが働いていそうですが、共通して簡易な4つのルールがあることがわかりました。

群れの経営

「群れ」に共通する4つのルール

1. 現場の知識を重視する
2. メンバー間で相互作業を繰り返す
3. 単純なルールを維持する
4. メンバーの行動に適度な多様性を残す

群れの経営



私たちも賢明な集団として協力し合えば、
状況の不確実性、複雑性、変化の影響を最
小限に抑えることができます。

群れの経営/バーチャルカンパニー構想

これはグループ各社が寄り添って仮想空間で
ひとつの企業(バーチャルカンパニー)を構成し、
自社の経営資源を有効に使いながら、一社で
はできない企業価値の向上をめざす構想です。

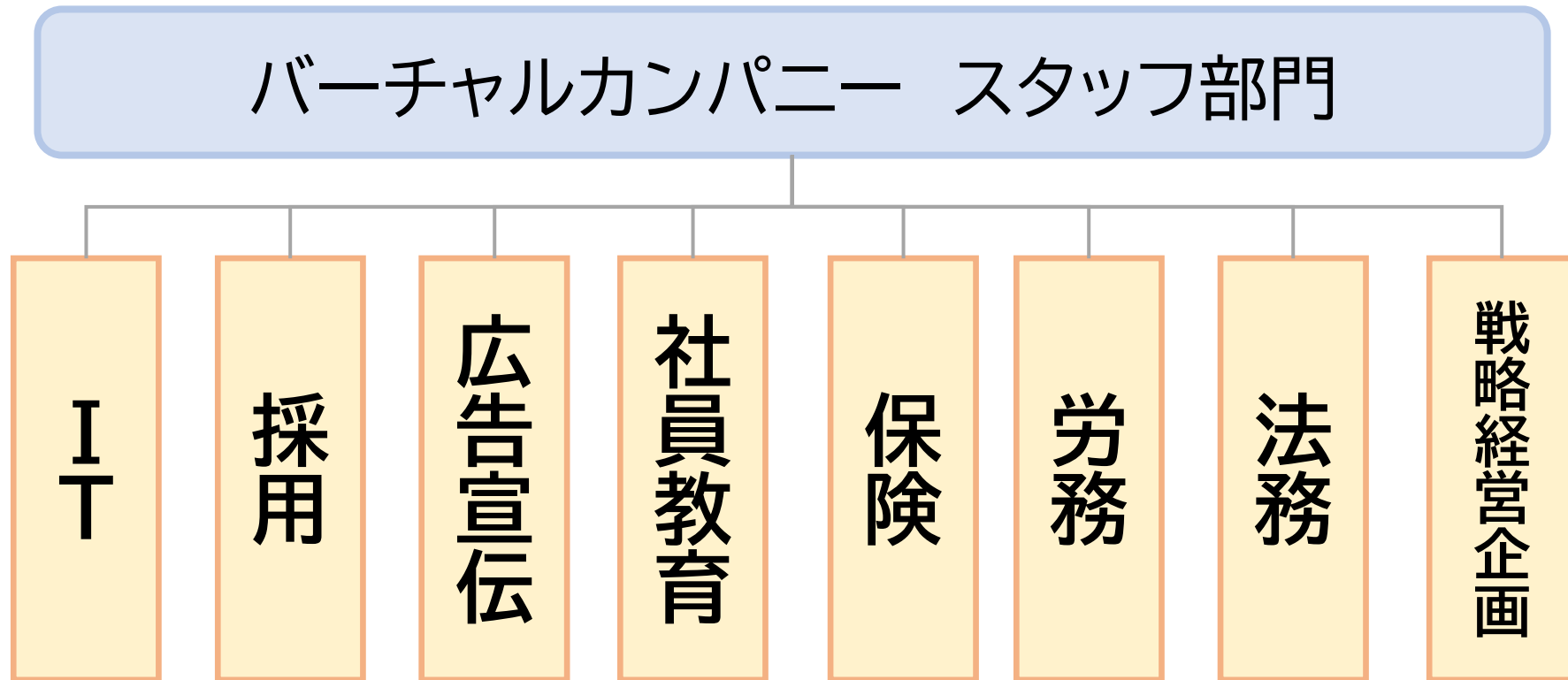
群れの経営/バーチャルカンパニー構想

「バーチャルカンパニー」は「専門性のある各社グループ」と「全国サービスネットワーク」、グループ各社のエキスパートや外部専門機関とタイアップした「スタッフ部門」により編成されます。



群れの経営/バーチャルカンパニー構想

スタッフ部門 イメージ



『群れの経営』と『バーチャルカンパニー構想』

- ➡ 共同で採用活動や教育やイベントを行い、力の弱い組織を互いの得意分野を受け持ち、結果としては大きな会社の体質にしようとの考え方です。
- ➡ クラブにあてはめますと奉仕活動をそれぞれのクラブの独自性を高めつつ、十分でない分野を協同しささえあって活動していこうということになります。

『群れの経営』と『バーチャルカンパニー構想』

👉 たとえば

委員会活動の分担

勉強会やイベントの合同開催

同好会活動のオープン化

事務局や例会場の共用活用など

『群れの経営』と『バーチャルカンパニー構想』

この考え方をヒントに、高齢化、とりまく環境の変化、会員数の減少による組織の衰退等の諸問題を克服し、小さいクラブが活力を持って地域に根ざした活動を続けることができれば幸いです。

ご期待ください

本日はきっかけの提案で、何かヒントになるのではと考えています。具体的には5月20日の地区増強セミナーにご期待ください。

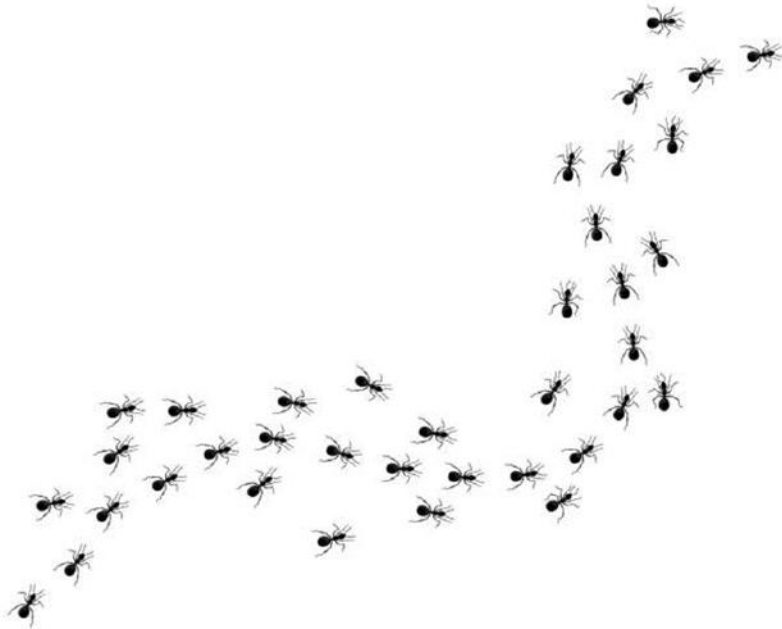
以上本日はあえて発表内容を従来のやり方をしませんでしたのでご了承下さい。

Rotary
District2660



CREATE HOPE
in the **WORLD**

本日はご清聴ありがとうございました。

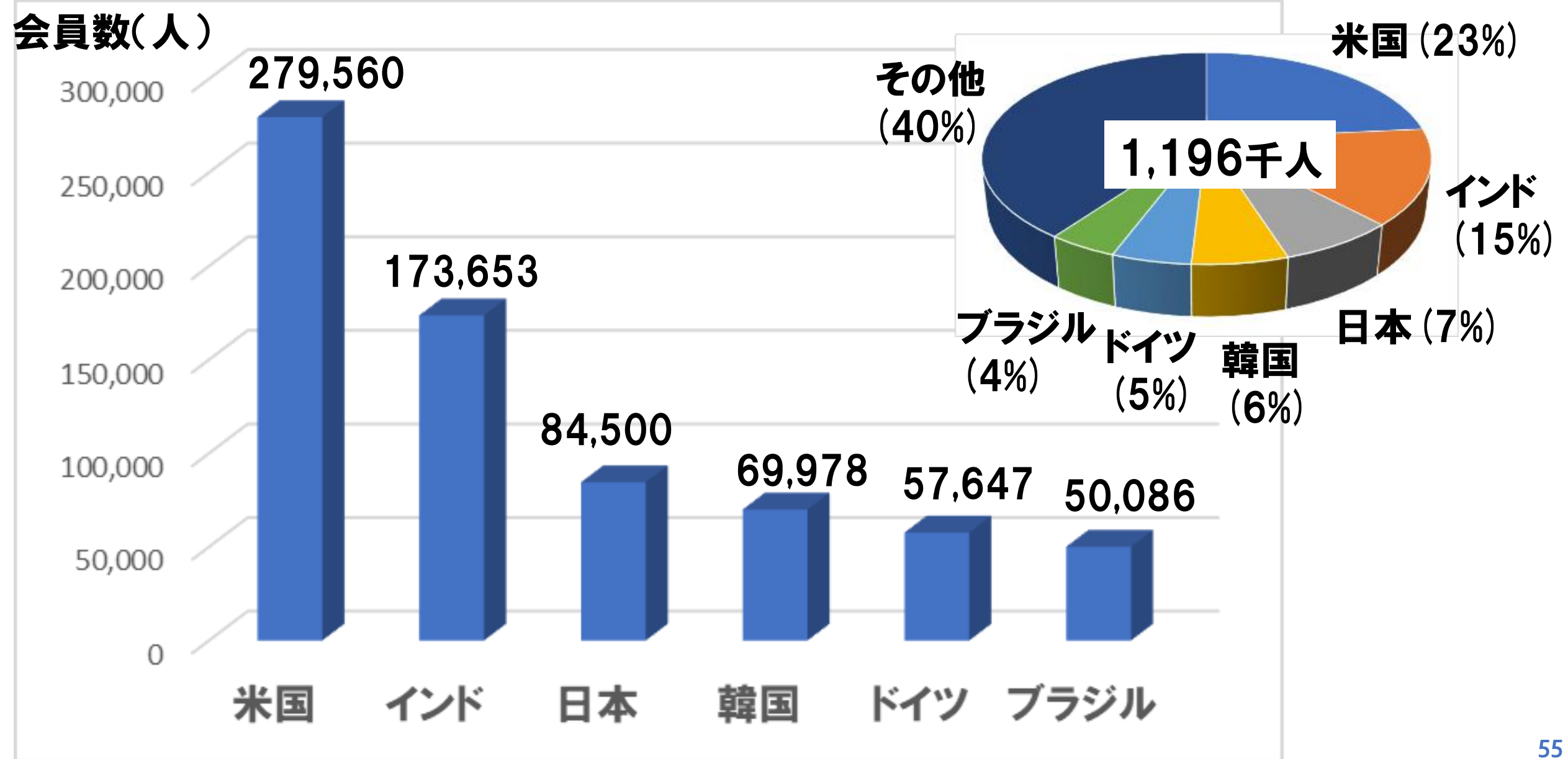




SAAの役割について

地区代表幹事 下條 泰利
(大阪南RC)

国別 ロータリー会員数



最近の例会ルールの変更

2016年 例会の頻度（最低月2回）、形式、出席の柔軟性

- ・例会の曜日と時間を自由に決定する
- ・必要に応じて例会を変更または中止する
- ・奉仕プロジェクトまたは社交行事を「例会」とみなす
- ・直接顔を合わせる例会、オンラインでの例会、その両方を交互に行う例会、あるいは両方の方法を同時に用いる例会のいずれかを選ぶ
- ・出席要件、または出席要件を満たさなかった会員の終結に関する方針を緩める

2019年 メークアップ期間が年度内に拡大

ロータリアンは、欠席した例会のメークアップを同じロータリー年度内に行うことができます

最も大切なのは「クラブでの体験」

ロータリーが最近行った調査によると、会員満足度を高める最も重要な要素はクラブでの体験であることがわかっています。

1

例会での楽しみ：会員が楽しみ、クラブの一員として参加・貢献できている、帰属意識をもてると感じている。

2

クラブリーダーへの信頼：クラブで意見を述べられる、クラブリーダーが自分に耳を傾けてくれていると会員が感じている。リーダーがクラブのために最善の決断を下してくれると信頼している。

3

個人的な成長の機会：自分のスキルを伸ばし、成長する機会がクラブとロータリーにあると会員が感じている。

クラブでの体験を形づくるものは何でしょうか。

4

つながり：ロータリーを通じて貴重な人間関係を築けたと会員が感じている。

5

有意義な奉仕：クラブの奉仕活動が世界と地域社会に変化をもたらしていると会員が感じている。

SAA（会場監督）とは？

SAAの歴史

- SAAは“Sergeant At Arms”(武装した下士官)
- 1189年、リチャード1世が警護の任につかせた24人の護衛隊の「官職名」
- その後、中世ヨーロッパの宮廷で、レセプション等の会場を取り仕切る役職名として定着
- 1906年、シカゴロータリークラブがSAAを正式な役職名として認定
- ポールハリス等が最初のSAAに就任



SAA(会場監督)の役割

例会をはじめ、すべての会議(国際大会、国際協議会、地区大会、地区協等)が楽しく、秩序正しく運営されるよう、常に心を配り、気品と風紀を守り、会合がその使命を発揮できるように設営、監督する責任を有する人。

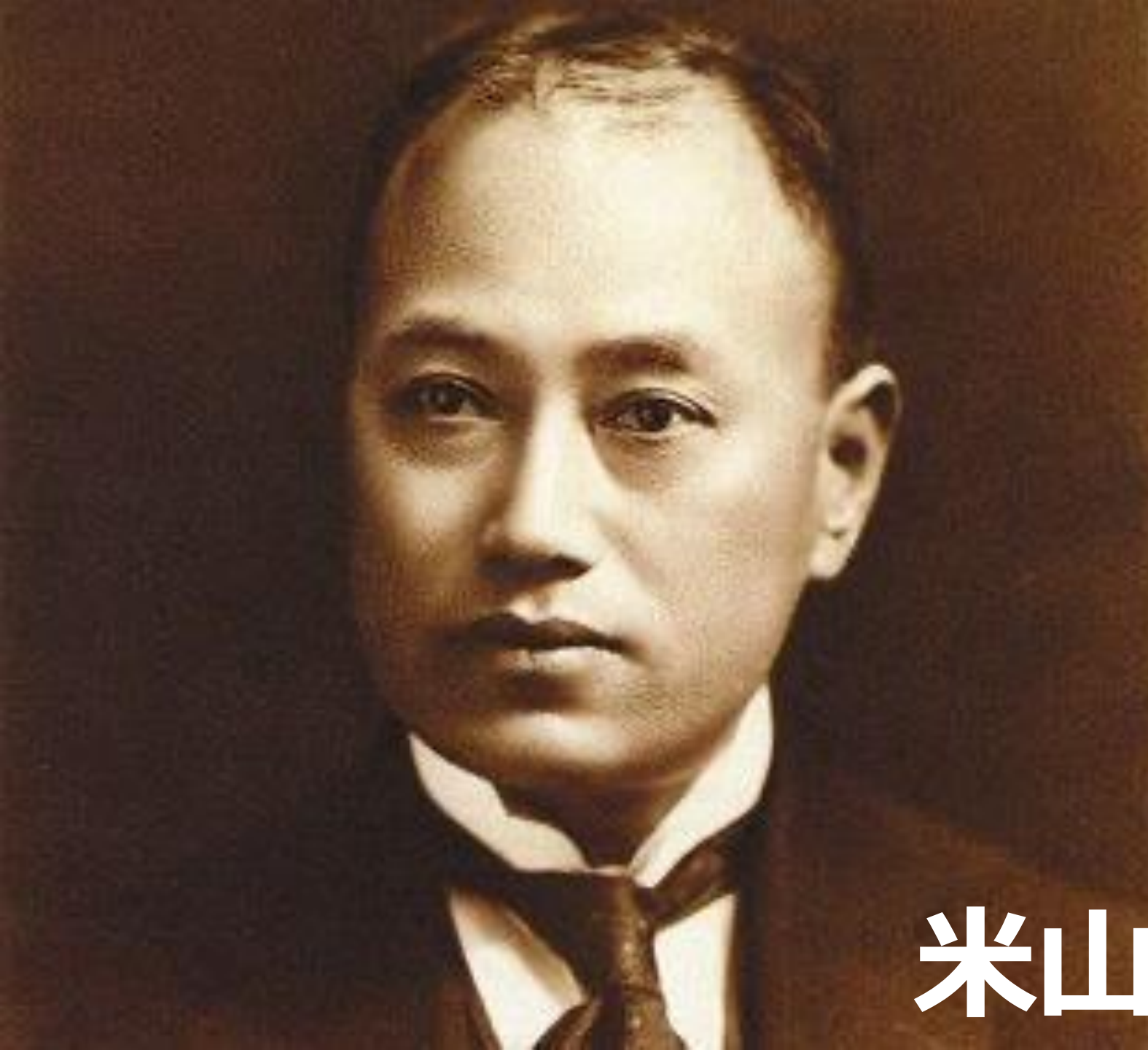
会場監督は「SAA」と呼ばれている。

クラブの会長、幹事と並んで役員としての地位が与えられ、極めて重要な存在である。理事会のメンバーであってもよいし、なくてもよい。

(改訂版第3版 ロータリー情報ハンドブック2020より)

SAA(会場監督)の主な職務

- ◇例会の司会進行
- ◇例会場への入場、退場許可。例会場の開門、閉門。
- ◇早退、遅刻の承認や拒否。
- ◇私語に対する警告。
- ◇卓話の時間励行
- ◇その他、会場秩序を乱す行為に対する警告と退場命令。
- ◇例会場の設営（テーブルの配置、座席の指定、等）
- ◇食事の献立、業者の選定、食事の手配
- ◇ニコニコ箱の管理とその募金状況の報告



米山梅吉の言葉

「ロータリーの例会は、
人生の道場である」

米山梅吉



SAA(会場監督)の主な職務

米山梅吉翁のガバナー月信には、S A Aの役割について次のように記載されています。

「終りに、サージャント・アット・アームスに就て一言。此役目中々御苦勞に有之、會則にも其職責一定せず、會長または理事會の定むる所に従ふ次第に候が、東京クラブにては戯れに警視總監など呼び候こともあり、御目付とも可申、世話人とも可申、或は又大きく言へば議會の院内総務にも當り、集會中は司會者に次ぎ會の規律を保つためには重大なる権能を附與され居るもの、其中特に希望され候は欠席者遅刻者等に注意してセクレタリーの仕事も助くると共に、何處にもある、會員中別懇の連中にて或るテーブルを占領するとき弊を矯め、或テーブルに常連の一村が出来る様なことのなきよう致すことに候。

因に、華府のハリス氏、米國第一の寫眞業者として有名と聞及び候が、毎年大會毎に必ず出席してサージャント・アット・アームスとなり、大會後の國際役員會議に於ても一週間ブツ通しにて議場を整理し、議案の配布其他些細のことまで世話を焼き又八釜しく小言も申し、何れも謹んで其言に従へるには敬服に候。」

SAAは、議会の院内総務にもあたる重大な権限を持つ。

欠席者や遅刻者に注意し、例会の規律を守る。

例会のテーブルに常連の村ができないようにする。

例会運営

魅力的で価値ある例会

1923-24年度RI会長
Guy Gundaker



ロータリークラブの例会は、
クラブ会員の向上、
会員の事業や業界の向上、そして
『ロータリーの目的』実現、のために、
最大限に活用する「親睦と学びの場」である。

重要な3つのポイント

- ① 会長挨拶（会長スピーチ）
- ② クラブの一体感
- ③ 例会プログラム

魅力的で価値ある例会

① 会長挨拶（会長スピーチ）

「心が洗われる会長挨拶を、毎回例会で行っているか？」

**「会員の士気の高揚」、「会長に対する信頼と敬愛の獲得」、
そして、「クラブの活性化」のために、**

→最大の武器は、心が洗われる会長挨拶である。

→これは、会長の特権であり、且つ責任である。

魅力的で価値ある例会

② クラブの一体感

「例会は親睦と学びの場であり、ロータリーの基盤である」

- **会員同士の交流を促す環境作り**
(テーブル座席の決め方、交流を促す企画)
- **ホッとする場、憩いの場、落ち着く場、明るく楽しい場**
(例会前の雰囲気作り)
- **新入会員や来訪者に疎外感を感じさせない**

魅力的で価値ある例会

③ 例会プログラム（卓話）

「限りある例会プログラムの時間を有意義に活用する」

- クラブ会員による卓話プログラム
- ゲストによる卓話プログラム
- ロータリーを学ぶための卓話プログラム

参考： 意義ある例会の心得

1. 心洗われる感動的な会長スピーチ（原稿は1分で300字が標準）
2. 会員スピーチの奨励（15分スピーチ、年間を通したテーマ卓話など）
3. 地区委員、RAC、交換留学生、米山奨学生、ロータリー学友などによる卓話の奨励
4. 特別ゲストの例会卓話などで、新会員候補者の例会招待（ロータリーを知ってもらう）
5. 「ロータリーの友」と「ガバナー月信」の解説や感想を会員が述べる例会時間の確保
6. ガバナー公式訪問時の「新会員激励式」や「クラブ表彰式」の奨励
7. クラブの例会プログラムとして「フォーラム」の奨励
8. RIから奨励されている例会プログラムの実施
9. 例会の開会時間、会員やゲストの卓話時間、閉会時間などの厳守

2023-24 年度 年次目標

1. より大きなインパクトをもたらす
2. 参加者の基盤を広げる
3. 参加者の積極的なかわりを促す

例会、フォーラム、研修、IMロータリーデー、新会員研修交流会、
その他行事をさらに魅力的な学びの機会とし、会員参加促進を目指します。

4. 適応力を高める



素晴らしい例会をする為の SAA の役割の重要性





2023-24のための地区研修・協議会

SAA・クラブ奉仕・クラブ研修リーダー部門

ご出席、有難うございました！

